

自殺対策について

1 自殺の現状（P50 第2次山陽小野田市自殺対策計画）

2 自殺対策事業実績

(1) 普及啓発

- ・スマイルエイジング出前講座、随時健康教育

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
回数	8	0	3	3	7
実施団体数	企業3 教員2 民生委員3		事業所1 民生委員2	事業所1 ケアマネ1 市民1	企業5 民生委員2
受講人数	261	0	62	54	278

- ・広報、FMスマイルウェブ等の活用
- ・図書館でのパネル展示
- ・啓発用のカード作成、配布
- ・相談窓口掲載パンフレットの普及

(2) 相談窓口（随時）※アルコール、ギャンブル、ゲーム等の依存症も含む

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
電話（人）	6	9	10	12	26
来所（人）	1	0	1	1	0

(3) 人材育成

①こころのサポーター養成講座

<実施状況>

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数（回）		1	3	3	3
受講人数（人）		29	72	85	124

※R5年度末時点でこころのサポーターは 889 名

②こころのサポーター支援講座

<実施状況>

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数（数）	2	1	1	1	1
参加延人数（人）	50	54	31	43	25

(4) 関係機関等との連携強化

①妊産婦・乳幼児

産後うつ等、産後の体調不良や育児不安のある方に対して、「子育て世代包括支援センター」を中心に、関係機関と連携を図りながら支援を行った。

②若年層対策事業

子ども市民教育推進事業での出前講座

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
回数 (回)	0	0	0	1	0
受講人数 (人)	0	0	0	118	0

③働き世代

メンタルヘルス対策が推進できるように職域に働きかけ、出前講座を行った。

※実績は(1)普及啓発 スマイルエイジング出前講座、随時健康教育参照

3 協議したいこと

40～59歳働き世代

- ・出前講座を増やすためには
- ・職場内の相談体制づくりの工夫